

機械器具 56 採血又は輸血用器具

管理医療機器 真空密封型採血管 35414000

BD タンパク安定化剤入り採血管

(BD™ P100)

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 本品を使用して採取した血液を体内に戻さないこと。[採取した血液の安全性が確保できない。]
- 本品を使用し採血する際には、耐圧性能を有するゴムスリーブ付き翼状針と単回使用採血ホルダー（以下「ホルダー」と呼ぶ）との組み合わせ以外では使用しないこと。
- 採血管が室内温度に戻らないうちに採血を行わないこと。[採血管の温度により採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- 採血管を抜くまで、患者の腕の血管の圧迫を解除したり、動かしたりしないこと。[圧迫を解除した際、あるいは腕の配置によっては静脈血圧が急激に低下し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- 採血管に血液が流入し始めた後は、ホルダーに押し込むような力を採血管に加えないこと。[採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- 採血終了後、採血管に翼状針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。[駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- ホルダーは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。[ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがある。]
- 体外循環回路又は中心静脈から採血は行わないこと。[圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]

【使用目的、効能又は効果】

〈使用目的〉

本品は、各種血液検査のために血液を採取する滅菌済み真空採血管である。

〈効能又は効果〉

被分析物質を安定化する添加物が封入されているため、血液中の被分析物質を安定に保存する。

【品目仕様等】

JIS T3233 真空採血管に適合する。

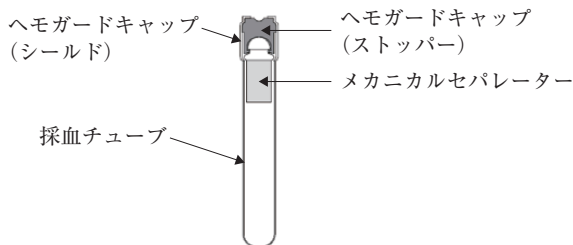
【操作方法又は使用方法等】

1. 室内温度になった本品を準備する。
2. あらかじめ手袋を着用する。
3. 翼状針をホルダーにセットする。
4. 駆血帯を装着し、穿刺部位を消毒する。
5. 翼状針を血管に穿刺する。
6. ホルダーを下向きにし、安定化剤入り採血管の栓が上向きになるように持ち、ホルダー中央にまっすぐ完全に押し込む。



【形状・構造及び原理等】

- 本品は、プラスチック製で、採血管内部に採血量分の陰圧がかけられた真空採血管である。
- * ● 採血管の中には、血漿を分離するためのメカニカルセパレーター、および血漿タンパクを安定化させるための添加物が入っている。



添加物：

タンパク安定化剤

エチレンジアミン四酢酸二カリウム（EDTA2K）

7. 採血管を栓が上向きになるように持ち、腕より低い位置で採血を行う。

注意：採血管内の穿刺針に血液が触れると採血管内の内容物が逆流するおそれがある。

8. 採血の血流が停止したら、直ちに採血管をホルダーから外す。
9. 連続採血する場合には、ホルダーを固定したまま、採血管を取り替える。

注意：標準採血法ガイドライン（JCCLS）では以下の採血管の順序が推奨されている。

- 1) 凝固検査用クエン酸入り採血管
- 2) 血清用採血管
- 3) ヘパリン入り採血管
- 4) EDTA 入り採血管
- 5) フッ化ナトリウム入り採血管
- 6) その他

タンパク安定化剤入り採血管への採血は最後に行うこと。

10. 採血終了後、採血管をホルダーから抜去した後に駆血帯を外す。

11. 抜針し、翼状針をホルダーから外さず適切な耐貫通性廃棄容器に廃棄する。
12. 速やかに採血管を静かに 8-10 回転倒混和する。
- *13. スイング式ローターまたは 45° アングルローターを用いて、室温、2500×g で 20 分間遠心し、血漿を採取する。
2500×g に対応した遠心機がない場合は、1100×g または 1600×g で 30 分間遠心する。

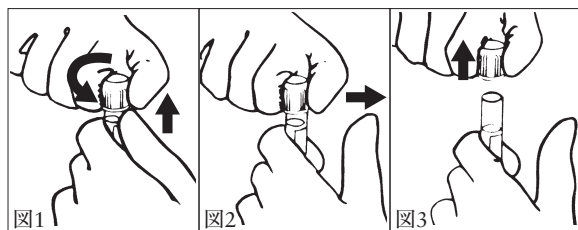
〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- *● 採血後、できるだけ速やかに遠心および血漿分取を行うことが望ましい。
- *● 必ず正しい遠心力で遠心分離を行うこと。3000×g を超える遠心力がかかると、チューブの破損や血液曝露、怪我が発生する危険がある。
- *● 30° や 33° のアングルローターは使用しないこと（十分な遠心力がかからず、メカニカルセパレーターが下がらない恐れがある）。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 患者の腕及び採血管の底部が採血中常に下向きであることを確認することが望ましい。
- 採血する際は、採血管の位置が上下に動かないようにすること。[採血管内圧と静脈圧の関係から採血管内の内容物が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- 採血時及び採血管を取り扱う際は、血液との接触を最小限にするため、手袋をするなどの適切な標準予防策をとること。
- 破損や異物の混入が認められる採血管は使用しないこと。
- 採取した血液が飛散する事があるため、栓を親指で押し上げて外さないこと。
 1. 栓の下に親指をあてて、片方の手で採血管を握る。親指で栓を押し上げながら、もう一方の手で栓がゆるむところまで回す。(図 1)
 2. 栓を持ち上げる前に、親指を栓から離す。(図 2)
 3. 栓を持ち上げて採血管から外す。プラスチックカバーがゴム栓から外れてしまった場合には、再度プラスチックカバーをゴム栓に装着せず、ゴム栓を採血管から注意深く取り外す。(図 3)



- 再栓するときは、採血管に栓をかぶせ、ゴム栓がしっかりと採血管に入るまで、回しながら押し込むこと。
- 使用後の採血管は適切な廃棄容器に捨てること。
- 針刺し損傷等によって血液検体に触れてしまった場合は、直ちに流水でよく洗い、施設のプロトコルに従い、適切な医療措置を受けること。
- 使用期限の切れた採血管は使用しないこと。
- 採血管をそのまま用いて検査する場合は、分析装置メーカーに適合の可否を確認し、必要に応じて調整してから使用すること。
- 使用期限内でもプラスチック管内部に徐々に空気が流入し、採血量が減衰する可能性がある。
- 採血時の気圧、血圧、温度等の影響により、採血量が変化する可能性がある。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

〈貯蔵・保管方法〉

水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避け、4～25℃で保管すること。

〈使用期限〉

使用期限は包装に表示。

開封前は乾燥剤入りアルミ袋のまま保管し、開封後は速やかに使用すること。

【包装】

P100 24本 (6本×4袋) / 箱

【製造販売業者および製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

TEL：0120-8555-90 (BDお客様情報センター)

外国製造業者：

ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー

(Becton, Dickinson and Company)

国名：米国

